

これからの地域資料 ーデジタル化の実践ー

DBJ Booklet No.7

これからの地域資料 ーデジタル化の実践ー

蛭田廣一 著



デジタル時代の「地域資料」収集・保存・活用とは
図書館の「地域資料」分野の第一人者が解説！
地域資料担当者、公共図書館員の実践に役立つ1冊！

地域の歴史・文化を未来へつなぐ重要な「地域資料」とは何か？
デジタルアーカイブ、行政資料収集、情報発信などの実践事例から、
地域資料デジタル化の基本的な考え方と進め方をわかりやすく整理！

デジタル時代の「地域資料」の収集・保存・活用とは？

地域資料の定義から整理・保存・デジタルアーカイブの構築、情報発信の実践までを、豊富な事例とともに解説！

地域資料とは、その地域の歴史や文化、行政、産業、人々の暮らしを記録した貴重な情報資源。しかし近年は、紙資料だけでなく、デジタル資料やデジタルアーカイブへの対応も求められている。本書では、地域資料の定義や収集・整理・保存の基本から、全国の図書館におけるデジタルアーカイブの先進事例、小平市立図書館で著者が長年取り組んできたデジタル化と情報発信の実践までを詳しく紹介。地域資料担当者はもちろん、公共図書館職員、自治体のアーカイブ担当者にも役立つ一冊。

●蛭田廣一著 A5・84頁 定価1,760円(本体1,600円＋税10%) ISBN 978-4-86140-734-5

目次

- はじめに
- 第1章 地域資料とは
- 第2章 地域資料の整理
- 第3章 地域資料のデジタル化と情報発信ーその事例と特色ー
- 第4章 小平市立図書館におけるデジタル化の実践
- 第5章 小平市立図書館におけるデジタルアーカイブの今後の展開
- 第6章 今後に向けた取り組みとデジタルアーカイブへの展望
- おわりに

著者プロフィール

蛭田廣一（ひるた・ひろかず）

1975年、小平市立図書館に勤務。2005～2008年小平市中央図書館館長、2008～2015年小平市企画政策部参事（市史編さん）を務める。この間、三多摩郷土資料研究会幹事、日本図書館協会資料保存委員会委員、ビジネス支援図書館推進協議会幹事などを歴任。2011年に日本図書館協会認定司書(1024号)を取得。松本大学松商短期大学部、鶴見大学、実践女子大学で非常勤講師を務める。2019～2021年、日本図書館協会専務理事。2024年、東京市町村自治調査会「情報資源活用方法に関する基本構想策定有識者会議」委員。著書に『地域資料サービスの実践』『地域資料サービスの展開』など多数。

関連書籍 好評発売中！

『蛭田先生。地域資料は集めるだけじゃダメってどういうことですか？
～ストーリーでわかる地域資料サービスの考え方～』

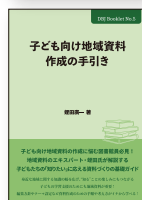
地域資料についての基礎知識、収集方法、資料を利用してもらうことの重要性について
ストーリー形式でやさしく学べる入門書！

●蛭田廣一監修 2024年刊 A5判・168頁 定価2,750円(本体2,500円＋税10%)
ISBN 978-4-86140-505-1

『子ども向け地域資料作成の手引き』

子どものための地域資料の作成に必要な考え方と予備知識、明日からでも
実践できる行動手順を図解や具体例を交えながら解説する実践ガイド

●蛭田廣一著 2024年刊 A5判・72頁 定価1,540円(本体1,400円＋税10%)
ISBN 978-4-86140-527-3



取扱店



DB Japan Corp., Inc.

発行 DBジャパン 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1丁目2-2 京王幡ヶ谷ビル4F

TEL : 03-6304-2431 FAX : 03-6369-3686 <https://www.db-japan.co.jp/> E-mail : books@db-japan.co.jp